

令和3年度から使用する中学校用、中等教育学校前期課程用
教科用図書選定理由書

種 目	選定 発行者	選 定 理 由
国 語	光村	学習の手引において、「生かす」「集める・整理する」など生徒の活動や思考に沿った学習の流れを位置付けることで、考えを整理しながら課題を追究することが可能な構成となっている。また、「読書生活をデザインする」などとして、自らの読書活動を振り返って今後の読書生活に目を向けるよう促すなど、主体的に読書に向かう態度を育む内容となっている。
書 写	光村	毛筆で書く活動を通じて気付いたり考えたりする構成を工夫するとともに、考える観点を示した「学習の窓」などを設定しており、多面的に考えながら課題を追究することが可能な内容となっている。また、単元のまとめに「日常生活」などに関連を図るコーナーを設定するとともに、切り離せる硬筆練習帳「書写ブック」があり、学習したことを日常生活に生かすことが可能な構成となっている。
社 会 (地理的分野)	帝国	ダイナミックな画像資料やキャラクターの吹き出しにより生徒が学習課題を捉えやすいよう工夫するとともに、節ごとのまとめでは、「整理する」「説明する」「持続可能な社会に向けて考えよう」という三つのステップを設けており、様々な視点から思考し、単元を通して学習を深めていくことが可能な構成となっている。さらに、コラムにより地理の学習における基礎的な技能を身に付けることが可能な構成となっている。
社 会 (歴史的分野)	帝国	各時代の様子が描かれた「タイムトラベル」を導入ページに掲載していることや、章や節ごとの問い、見開きページの学習課題を設定することで、探究的に学習することが可能な構成となっている。また、アイヌ民族の歴史や文化、北海道の開拓についての資料を豊富に掲載するとともに、巻末の歴史年表に北海道の歴史区分を明記するなど、北海道の歴史の特殊性についての理解を深めることが可能な内容となっている。
社 会 (公民的分野)	東書	章の導入の活動で単元を貫く「探究課題」を設定するとともに、章末で導入と連続性のある活動を設定しており、章を通して探究的に学ぶことで、主体的に社会参画しようとする意欲や態度を育てることが可能な内容となっている。また、アイヌ民族や子どもの人権、性の多様性への理解についても豊富な具体例を基に探究的に学ぶことを通して考察することが可能な構成となっている。

地 図	帝国	世界の各州の鳥瞰図では、土地の起伏や気候に加え、観光地や生息する動物等をイラストで掲載することで、興味をもって地図を様々な学習に活用することが可能な内容となっている。また「地図活用」を随所に掲載することで、自ら社会的な見方・考え方を働かせて問いを追究することが可能な内容となっている。
数 学	学図	これまでの学習を振り返ったり問いを投げかけたりするキャラクターの吹き出しや囲みを随所に掲載し、生徒自らが数学的な見方・考え方を働かせながら、疑問や課題を見いだすことが可能な内容となっている。また、一連の学習の過程を振り返って学びを整理するとともに、次の学びにつながる新たな課題を見いだすことが可能な構成となっている。
理 科	啓林館	生徒が、自然事象に対する課題について、学習経験などを基に実験方法を考えることで見通しをもつとともに、結果に対して自らの言葉で考察し、規則性や法則を導き出す主体的な探究を行うことが可能な構成となっている。また、自然災害について、防災・減災の視点で、自らの行動について話し合う活動や単元の随所に関連するコラムを掲載するなど、日常生活と災害との関連について、自らの考えを広げたり深めたりすることが可能な内容となっている。
音 楽 (一般)	教出	協働的に学ぶことを重視した「Active! 進んで学び合おう」を配置し、表現領域では、キャラクターからのアドバイスなどにより思いや意図をもって音楽表現できるよう工夫されている。また、鑑賞領域では、比較して鑑賞することにより、音楽のよさなどを見いだすことが可能となっている。さらに、札幌コンサートホールのパイプオルガンの写真や、北海道にゆかりのある言葉を用いた創作の教材など、札幌のよさを生かした学習が可能な内容となっている。
音 楽 (器楽合奏)	教出	箏のページでは、柱（じ）の立て方や爪のつけ方、親指による基本的な奏法などがわかりやすい角度の写真で解説されており、生徒が模倣しながら基礎的な技能を身に付けることが可能な内容となっている。また、日本の伝統楽器を用いた楽曲やリコーダーアンサンブルなど、多様な演奏形態による合奏曲が豊富に掲載されており、学校の実態に合わせて活用することが可能な構成となっている。
美 術	日文	全ての題材において「造形的な視点」を掲載することで、形や色彩等の特徴について思考し、気付いたり感じ取ったりしたことを発想や構想、表現に生かすことが可能な構成となっている。また、完成度の高い作品を数多く掲載することにより鑑賞の活動を充実し、美術や美術文化に対しての見方や感じ方を深めることが可能な内容となっている。

保健体育	大修館	感染症の予防や運動への多様な関わり方について丁寧かつ具体的に示すなど、健康の保持増進に関する実践意欲を高める内容となっている。また、見開きページが「今日の学習」「課題をつかむ」「学習のまとめ」という流れで構成されるとともに、課題の解決に必要な表やグラフ、コラムなどの資料を豊富に掲載しており、科学的な視点で課題を解決し、学習をまとめることが可能な構成となっている。
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	問題解決に向けた PDCA のプロセスを問題解決のページ冒頭に示すとともに、実習例のページにも繰り返し示しており、問題解決に向けた思考の流れを生徒が常に意識できる構成となっている。また、問題を解決する考え方として「トレードオフ」を例に「技術の最適化」について取り上げるとともに、各編の章末でも最適化の三つの側面から考えの整理を促す構成としており、様々な側面から考える力を育むことが可能な内容となっている。
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	「日常食の調理」の実習例において「調理Q&A」を掲載し、調理の仕方について科学的な根拠をもとに理解することができ、必要感をもって実践することで確かな技能を身に付けることが可能な構成となっている。また、高齢者や障がいのある人、LGBT など様々な人が住みやすい地域にするための工夫例や、家族との関係づくりについて相談できる窓口等を掲載しており、家族や地域の一員として協力・協働しようとする態度を育むことが可能な内容となっている。
英 語	東書	「Mini Activity」や「Unit Activity」、「Stage Activity」などにおいて、「聞く」「話す」「読む」「書く」の四つの技能を関連付ける活動を段階的に取り入れ、これまで身に付けた力を発揮しながら課題を解決することが可能な構成となっている。また、1 学年において、小学校で学んだ表現や文字と音の学習を継続的に設定するとともに、CAN-DO リストで小中学校の学びのつながりを示すなどしており、小中一貫した学習活動が可能な内容となっている。
道 徳	光村	教材文後に「考えよう」において、学習のねらいにせまる問いを掲載するとともに、「見方を変えて」「つなげよう」など視点を変えた問いや、日常生活とつなげる問いを示すことで、ねらいとする道徳的価値について多面的・多角的に考えることが可能な構成となっている。また、読み物教材で学んだ道徳的価値について身近な場面を通じて考える「深めたいむ」の活動が設定されており、実感を伴って考えを深めることが可能な内容となっている。